

秋田赤十字乳児院

広報誌 第61号

理念

私たちは、赤十字精神のもとに、子どもたちの権利擁護と最善の利益を守り、心身ともに健やかな成長を図ることのできる愛情のこもった養育環境を提供します。

よちよち ちゃん



令和4年度スローガン ～互いを思い、支え合おう～



院長 石川 明子

ようやく本格的な夏が訪れました。当院では5月に新型コロナウイルス感染症のクラスターが発生し、入所児童、職員の多くが罹患し、収束まで約6週間を要しました。皆様には大変なご心配をおかけしましたこと、深くお詫び申し上げます。また、秋田赤十字病院、県内児童養護施設の皆様の応援派遣を頂き、本当にありがたく、心強く思い、心から感謝しております。

平常通りの生活に戻り、久しぶりの院外保育に出かけ、大人も子どもも楽しい思い出づくりができました。

ところが、ホッとしたのも束の間、今はこれまでにない爆発的な感染状況となっています。気を引き締めて、最大限の対策を継続してまいります。

そして、令和4年度も入所児童一人ひとりに寄り添い、安心でのびのびとその子らしく成長できる環境を提供してまいります。また、「フォスタリング機関事業」を受託して3年目となり、登録研修受講者は年々増加しております。一人でも多くの子どもが「家庭的環境」の下で生活できるよう家庭・里親の支援を継続してまいります。皆様には今後も更なるご理解、ご協力をお願いいたします。

天皇陛下より御下賜金を拝受



【左から】佐竹知事、当院院長、保坂事務局長（日赤秋田県支部）

この度、秋田赤十字乳児院は天皇陛下より御下賜金を拝受いたしました。御下賜金は、例年、天皇誕生日に際し、天皇陛下の社会福祉事業御奨励の思し召しにより、各都道府県及び政令指定都市の優良な民間社会福祉事業施設・団体に対して金一封が下賜されるものです。

令和4年2月28日、佐竹知事より石川院長へ伝達書及び御下賜金が伝達されました。

大変光栄なことであると感じており、嬉しい限りです。今後とも、当院の理念である「赤十字精神のもとに、子どもたちの権利擁護と最善の利益を守り、心身ともに健やかな成長を図ることのできる愛情のこもった養育環境を提供」できるよう、職員一同ますます精進してまいります。

なお、伝達書は当院入口に掲示しています。コロナ禍が落ち着いた折には、ぜひ多くの方に直接ご覧いただきたいと思っております。

ひよこ組

生後数日からお預かりしている子どもたち……
ひよこ組には、大事なはじめてがいっぱいです。
なかなか立ちできなかったAちゃん、保育者の膝に
またがり足を踏ん張る練習…ある日、ベッドで一人で
つかまり立ち「うわ～、立ちしたの！すごい」子ども
たちのはじめてを一緒に喜び、大切にしていきたい
ですね。
(田口(聡))



お座りできたよ



ぱんだ組

お話がすっかり上手になってきたぱんださん。
うれしかったことも、悔しかったことも、言葉で
教えてくれるようになりました。お歌もダンスも
だ～いすきな4人なので、お部屋の中はいつもに
ぎやかです。これからも新しいことにたくさんチ
ャレンジして、キラキラ笑顔を見せてほしいな。
(佐々木(夕))



2歳になったよ！



ばんび組

全国的にコロナが落ち着いていた7月某日、ずっと
待ち望んだ動物園への院外保育です。何日も前から
「何いるかなあ？」「ゴリラいる？」「イルカいる？」
と質問攻めにあう保育者たち。さあ、お目当ての動物
はいたのかな？
(高杉)



くぎづけ(◎_◎)
おーい、次の動物待ってるよー

ことい組

ばんび組の子どもに話を聞いたり、パンフレットを
見たりして事前準備は万端！いざ動物園へ！去年は
動物よりおっきい泣き声を園内に響かせていました
が、今年はじっくり動物観察…と思いきや持参したお
やつが気になってそれどころではないみたい(；ω；)
やっぱりお出かけはいいな。次はどこへ行こう？
(森川)



おさるさんにもおやつ(エサ)をあげたよ！

防災設備を更新しました！

令和4年3月、一般財団法人篠原欣子記念財団より「令和3年度児童福祉施設助成」を受け、防災設備一式を更新しました。

当院の防災設備は、平成12年に新築移転した当時からのものであったため、受信盤や通報装置自体の機能は全く問題ないものの、受話器の一部が割れていたり、音量が低い等の劣化がありました。

この度の助成を受け、火災受信盤や自動通報装置等の交換工事を行い、設備の更新を実施しました。

当院では毎月防災訓練を実施しており、早速4月上旬に防災設備を使用して夜間火災想定訓練を行いました。

新品の装置で消防からの連絡をスムーズに行い、避難も迅速かつ確に、子どもたちの安全を確保しつつ不安を和らげる声掛けをしながら避難完了することができました。

この度の助成により、子どもたちの安全を確保し、安心して生活できる環境を整備することができました。

一般財団法人篠原欣子記念財団さま、本当にありがとうございました。



新しい受話器で消防電話対応



火事だー！と緊迫感もって伝達

～奉仕活動～

4月26日、東北電力ネットワーク秋田電力センターの皆様が当院の外窓を清掃いただきました。この活動は平成22年から行われております。

清掃用ブラシでの水拭きと雑巾でのから拭きにより、窓をピカピカにいただきました。

また、ご厚意で高所作業車にも来ていただき、子どもたちをバケットに乗せていただきました。子どもたちは大喜びで、笑顔が絶えませんでした。大変ありがとうございました。



編集後記 ～スタッフから一言～

8月5日、下鍛冶町竿燈会・日赤竿燈会の皆さんが乳児院を訪問し、見事な演舞を披露してくださいました。「どっこいしょ、どっこいしょ」という元気な掛け声、軽快な太鼓や笛のお囃子につられ、近所の方々もその様子を観に来られました。子どもたちも、竿燈の大きさに目を見張りながら、手拍子で一生懸命応援していました。そんな子どもたちを見ながら、この子たちの未来も、空に向かってぐんと伸びる竿燈のように、明るくまっすぐ照らされますように、と願うばかりでした。（佐々木（夕））



■編集・発行 秋田赤十字乳児院
〒010-0041 秋田市広面字釣瓶町 100-3
TEL 018-884-1760 FAX 018-884-1762
電話相談 018-884-1761 (8:30~23:00)
ホームページ <http://akita-nyuji.jrc.or.jp/>